

[目次へ戻る](#)

[このページ](#)

[印刷.pdf](#)

Win_7機を考察、軽快に動かす



購入して1年も経過しないのに、なんだか動作が遅くなった。
設定を変更すれば改善するのが、フリーソフトを使って、起動や動作を早くする方法を紹介。

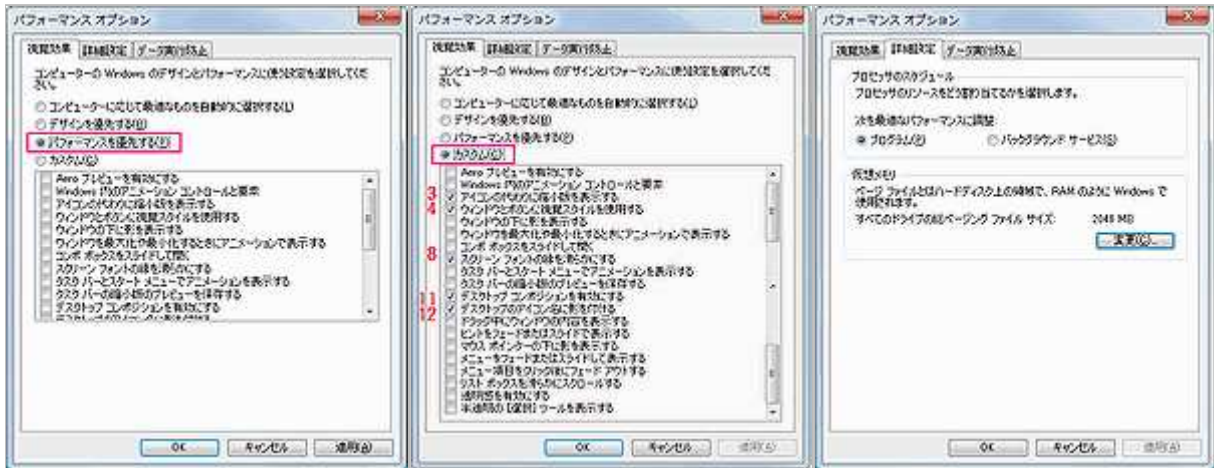
25.02.15

Win_7の設定を変更

OSの設定を見直して、軽快に動かします。

システムのプロパティの設定を変更

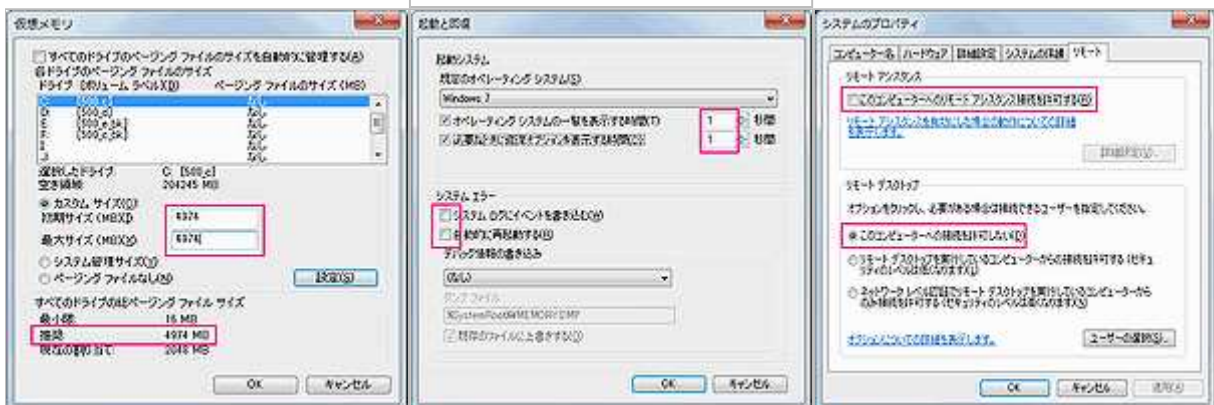
コントロールパネルを開き、システムのプロパティを開きます。詳細設定、パフォーマンスオプション、視覚効果を開きます。



最初にパフォーマンスを優先するをクリック。チェックを外す。

カスタムを選び、項目の3.4.8.11.12にチェックを入れ適用をクリック。

詳細設定タブをクリック。仮想メモリ、変更をクリック。



仮想メモリ、カスタムサイズを、推奨=初期サイズ=最大サイズとする。設定をクリック。

起動と回復を開き、起動システムを、1秒に。システムエラーの項目のチェックを外す。

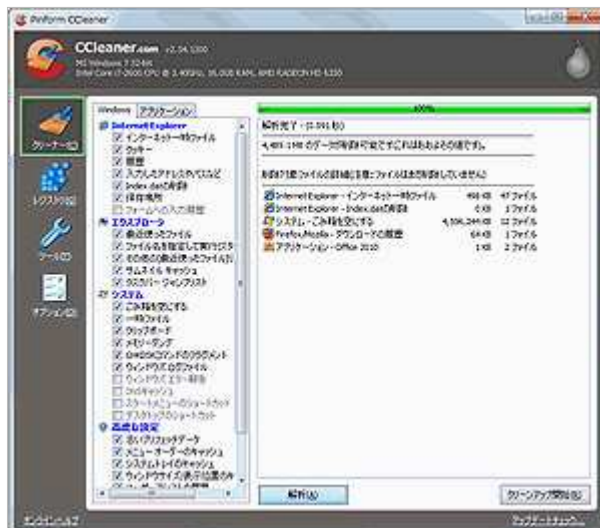
リモートタブをクリック、リモートアシスタンスのチェックをはずす。リモートデスクトップの接続を許可しないにチェックを入れる。適用をクリック。

フリーソフトで快適に設定する

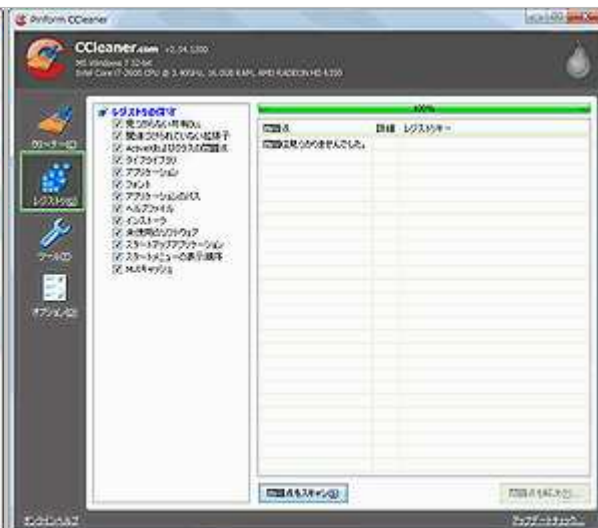
CCleanerでパソコンの掃除を！！



ccsetup234.exe、右クリック、ファイルに保存
クリック、実行して、左のアイコンをクリック。



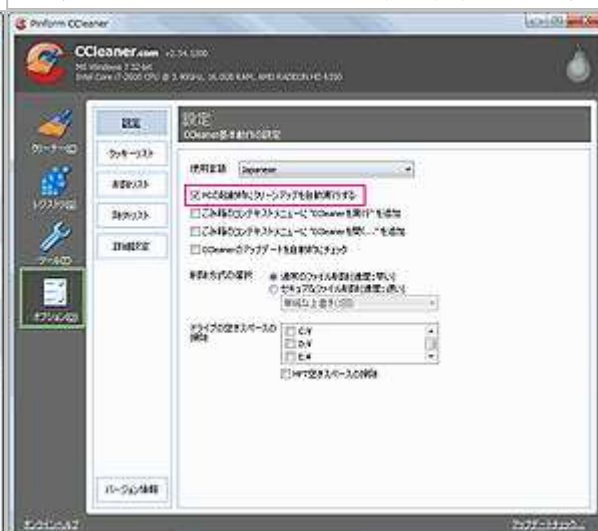
クリーナー。
解析をクリック。リストが出たら、クリーンアップ開始をクリック。



問題点。
問題点をスキャンをクリック。使われていないファイルや、使われていない設定が表示されます。
問題点を解決をクリックして、次で削除します。



ツール。
インストールされているアプリケーションが表示され、アンインストールが実行できます。



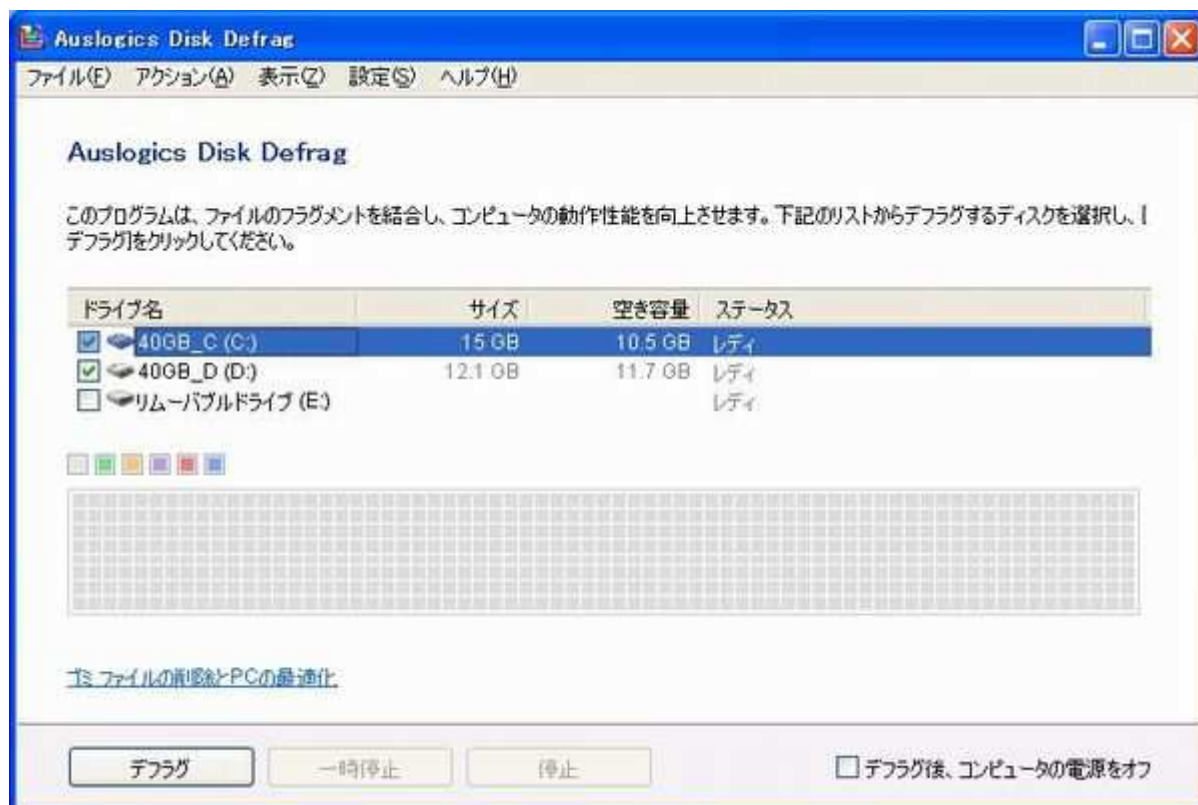
オプション。
あなたのPCの・・・にチェックを入れる。上記の2項目が、PCの起動時に自動実行されます。

Disk Defragでファイルの配置を最適化！！



diskdefrag
Disk Defrag
Auslogics

disk-defrag-setup.exe、右クリック、ファイルに保存
クリック、実行して、左のアイコンをクリック。



デフラグをクリックすると、ファイルの最適化が行われます。OSに付属する標準のものより早いのが特徴です。

Win accelerator で起動、終了を早くする！！



winaccelerator_setup.exe、右クリック、ファイルに保存
クリック、実行して、左のアイコンをクリック。



システム。
1、2、3、にチェックを入れる。

デスクトップ。
2、3、にチェックを入れる。



エクスプローラー。
2、3、4、にチェックを入れる。

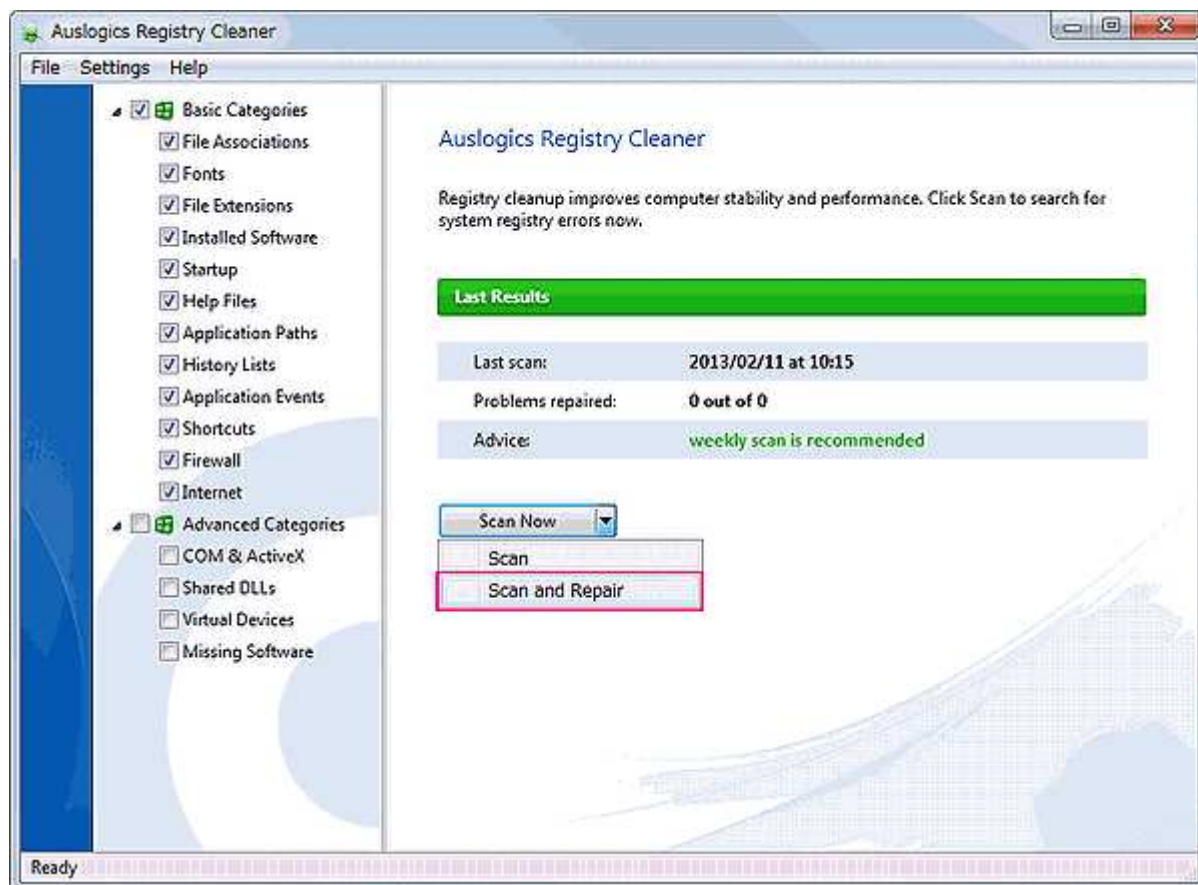
起動・終了。
3、4、7、にチェックを入れる。

設定が終わったら、高速化をクリックする。
起動、終了が早くなり、うるさい自動更新の表示も出なくなります。

RegCleanerでレジストリーを掃除する！！



registry-cleaner-setup.exe、右クリック、ファイルに保存
クリック、実行して、左のアイコンをクリック。



Scan Now の右の下矢印をクリックして、Scan and Repair を選択すると自動実行されます。レジストリー
ーを検査して、関連のない項目や使われてない項目を削除します。

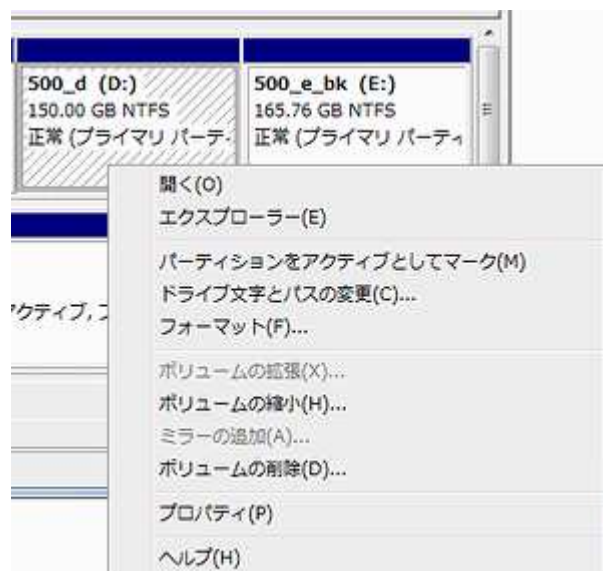
HDDを考察！！

Dドライブを作成！！

Win7には、ドライブの作成は標準で組み込まれています。しかし、実行の前に、Disk Defrag を実行してから行いましょう。



コントロールパネル、管理ツール、コンピューターの管理、ディスクの管理、をクリック。少し時間を要してドライブが表示されます。



縮小したいドライブをクリックし、右クリックすると左図の画面が表示される。ボリュームの縮小を実行し、あいた個所に新しいボリュームを作成する。

分割、移動の前に、ファイルの位置などを確認し、デフラグを実行してからがよい。

最後に、フォーマットして完成です。

Dドライブにホルダーを作ってファイルを保存します。パソコンが入れ替っても、Dドライブを丸ごとコピーすれば、移動は簡単です。

CrystalDiskInfoでハードディスクを調べる！！



DiskInfo.exe

crystaldiskinfo22.exe、右クリック、ファイルに保存
クリック、実行して、左のアイコンをクリック。

CDI 2.7.4 - 『使用時間』の単位を検出中です... (約 130 秒かかります)

ファイル(E) 編集(E) 機能(U) テーマ(I) ディスク(D) ヘルプ(H) 言語(Language)

正常 30 °C D: E: F: 正常 -- °C C:

ST3500413AS 500.1 GB

健康状態 **正常**

温度 **30 °C**

ファームウェア	JC49	バッファサイズ	16384 KB
シリアルナンバー	Z2ALA3AV	NV キャッシュサイズ	---
インターフェース	Serial ATA	回転数	7200 RPM
対応転送モード	SATA/600	電源投入回数	703 回
ドライブレター	D: E: F:	使用時間	623 時間
対応規格	ATA8-ACS ATA8-ACS version 4		
対応機能	S.M.A.R.T., 48bit LBA, APM, AAM, NCQ, TRIM		

ID	項目名	現在値	最悪値	しきい値	生の値
01	リードエラーレート	118	99	6	0000081D9C50
03	スピンアップ時間	100	100	0	000000000000
04	スタート/ストップ回数	100	100	20	0000000002C1
05	代替処理済のセクタ数	100	100	36	000000000000
07	シークエラーレート	72	60	30	000001067D38
09	使用時間	100	100	0	00000000026F
0A	スピンアップ再試行回数	100	100	97	000000000000
0C	電源投入回数	100	100	20	0000000002BF
B7	不明	100	100	0	000000000000
B8	不明	100	100	99	000000000000
BB	ベンダ固有	100	100	0	000000000000
BC	不明	100	100	0	000000000000

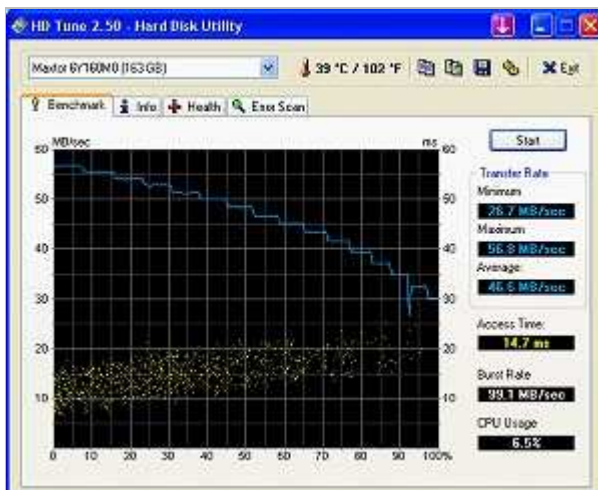
少し時間を要しますが、HDDに書き込んである、S.M.R.Tのデータを読み込み表示します。電源投入回数、使用時間などが表示されます。健康状態の表示が正常（青）から黄色になったら注意です。赤になれば使用をあきらめます。

HD Tuneでハードディスクを調べる！！

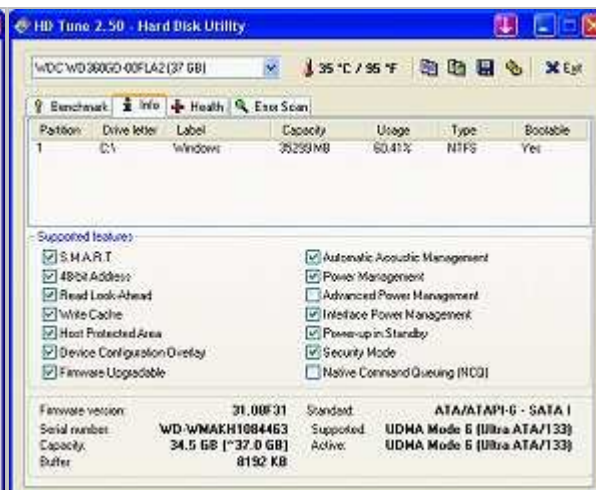


HD Tune

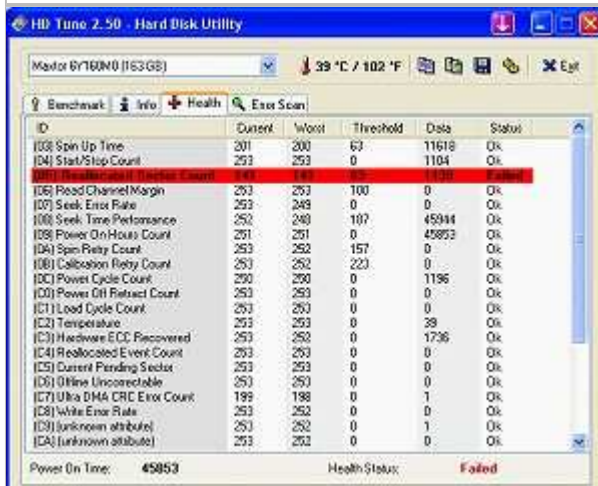
hdtune_255.exe、右クリック、ファイルに保存
 クリック、実行して、左のアイコンをクリック。
 残念ながら、下記のHDDは使用を続けるのは難しいです。



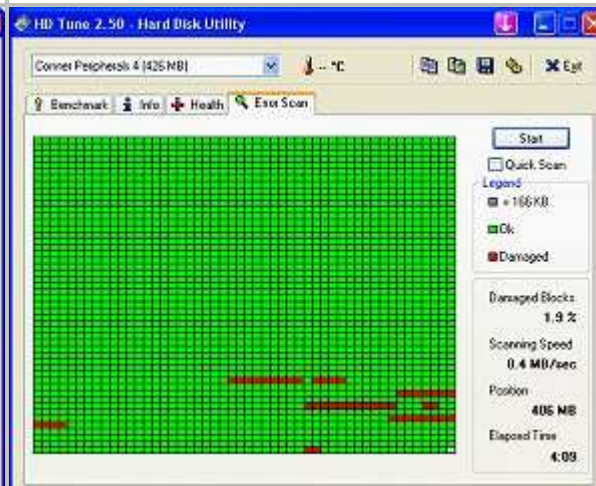
Benchmark.
 Startをクリックすると書き込み速度が調査されます。



Info.
 HDDの容量、バッファメモリの数値、使用量などが表示されます。



Health.
 HDDの状態が表示されます。HDDに書き込まれているデータを表示します。赤の項目は不良を表しています。黄色は注意です。



Error Scan.
 StartをクリックするとHDDのセクターのチェックが行われます。Quick Scanに設定すると早く行われます。そのまま実行すると丁寧なチェックが行われ時間を要します。赤点は不良ブロックです